

がんは“早期発見”が



鍵

市では9月からがん検診が始まります。(詳しい日程はP 16,17 をご覧ください)

胃がん検診の他に、肺がん・結核検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検査が受けられます。どのがんも早期発見が鍵となりますので、年に1回は検診を受けましょう。

❗「がん」と聞くと、みなさんはどのようなことを想像しますか？



入院しての
治療？

抗がん剤の
副作用がひどそう

仕事や生活が
変わってしまう？

長生き
できなくなるの
ではないか



…と、思っている人も多いのではないのでしょうか？
しかし、今の治療は進化しています。



ここでは胃がんについて紹介します。

胃がんは“がん”の中でも患者数が最も多く、胃の出口、十二指腸へとつながる部分(幽門部)にできやすい“がん”です。しかし、早期に発見し、治療することで高い確率で治癒することができます。そのため、定期的に検診を受けることが大切です。

【胃がん】



自覚症状あり

検診を待たずに医療機関に受診しましょう

吐き気やげっぷ、疲れやすさ、胃の痛みや胸やけなど

自覚症状なし

がん検診受診

精密検査

異常なし

来年も検診を受けましょう

胃がんが見つかったら、
早期治療につなげましょう。
胃ポリープや慢性胃炎など
他の病気も見つかります

◎検診内容◎ **胃透視 (バリウム検査)**

★写真を8枚撮影します。

なお、ポリープなど胃の病気にかかった人や、体を撮影のため上下左右に動かすので、高齢者にはおすすめしていません。
(自費となりますが、医療機関で胃内視鏡検診での受診をお願いします)

自覚症状がなく
検診で見つかったがんは
早期がんであることが多いです。

最新のがん治療 ～胃がん編～

内視鏡療法

早期がんの場合は、口から内視鏡を挿入しがんを切除します。そのため、開腹による手術の傷跡もなく、入院期間も約5日間と短いです。



抗がん剤治療

今のお薬は副作用も少なく、抗がん剤治療が外来でできます。そのため、身体や日常生活の負担も少なくなっています。



参考：日本胃癌学会（胃癌治療ガイドライン）

▶ 問い合わせ 健康増進課 ☎75-3355

